



TECUM Letter

2018 年度 2 月号 創刊号 (通巻 2 号)

目次

0	はじめに — 2018 年度 TECUM の活動について	1
1	賛助会員のページ	2
2	出版関係者のページ	4
3	身近な現象の数理	5
4	連載論考 「数学の世界」 vs. 「物理学の世界」 No.2	7
5	長岡の数学雑記帳 — 数学の概念を表現する言葉	9
6	連載論考 スクリプトが開く世界	9

0 はじめに — 2018 年度 TECUM の活動について

新年が明けて、2018 年 1 月 1 日から TECUM を、法人への寄付が税金控除の対象となる「認定 NPO 法人」としての認可に向けて本格的な助走段階に入りました。新年度の TECUM の最初の重要な活動は、TECUM 研究機関誌『数学教育のロゴスとプラクシス』の発行と、TECUM 定期研究会『数理教育セミナー』の開催 (今年の 2 月からほぼ 3 ヶ月ごと) です。最初の会は、2 月 10 日、中央大学理工学部 (文京区春日) 内の教室で行われます。10:00 am ~ 17:00 pm の予定です。研究機関誌の発刊はそれよりほんのわずかでも早めるべく機関誌委員会が頑張っています。より詳しい情報が欲しい一般会員、特に研究会参加に費用がかからない特別賛助会員の方は secretariat@flexcool.net 宛にお問い合わせ下さい。

賛助会員の皆様のための隔月発行広報誌『TECUM レター』も、2018 年度から《創刊第一号》として発行して参ります。数学教育を支援する会員相互の、一風変わった、しかし他では見られない異業種交流の活発化と将来の出版を目指して、できる限り質の高い情報発信を心がけますので、どうぞよろしく願いいたします。

なお、TECUM 運営に関する会議は新年度に入ってからはいくつかの作業部会を除いては email を介した virtual なものばかりですので、詳細な報告は次号に譲ります。次号では、一般会員による選挙を通じた代議員会、理事会を含め、重要案件を報告致します。

今回の TECUM レターでは、「賛助会員のページ」、「編集関係者のページ」を含め、2017 年 12 月発行の創刊準備号から引き続いた連載を載せてまいります。バックナンバーについての御要望については、tecumoffice@flexcool.net 宛にいただければお応え致します。

長岡 亮介